

いただいたご意見への対応方針（令和7年度 第3回区政会議）

番号	会議	意見内容	対応方針
1	第3回 はぐくみ・教育部会	日本語が分からない外国籍の児童生徒について、通常の授業もしっかりできるように対応してほしい。	いただいたご意見については、教育委員会などの担当部局へ伝えてまいります。
2	第3回 はぐくみ・教育部会	基礎学力アップ事業のチラシを個別に配付していただいているが、HPにも掲載してはどうか。また、広報紙に載せて周知してはどうか。	この事業に興味を持ってもらえるよう、チラシ等の見せ方に工夫を凝らしながらHPや広報紙で周知を行ってまいります。
3	第3回 はぐくみ・教育部会	基礎学力アップ事業について、なかなか受講できない児童生徒もいるので、オンラインや動画などの活用も含め、いろんな機会や環境を整えることで参加者の増につながると思う。	オンラインや動画の活用と併せ、実施拠点の拡大に取り組む事で受講機会の確保を図ってまいります。
4	第3回 はぐくみ・教育部会	基礎学力アップ事業の周知に際し、楽しそうに受講している様子を動画や写真を載せたり、利用者の声を載せる工夫をしてはどうか。	この事業の良い雰囲気が伝わるような写真等をチラシに掲載するなどの工夫を凝らしながら、周知を行ってまいります。
5	第3回 はぐくみ・教育部会	見せ方を工夫し、興味を持ってもらえるようなチラシを作成してはどうか。	
6	第3回 はぐくみ・教育部会	大阪市習い事・塾代助成事業について、対象世帯での手続きを簡素化すれば利用が伸びるのではないかと。	いただいたご意見については、こども青少年局などの担当部局へ伝えてまいります。

いただいたご意見への対応方針（令和7年度 第3回区政会議）

番号	会議	意見内容	対応方針
7	第3回 すこやか・まちづくり部会	若い世代の人にイベントへ参加してもらうため、同窓会ネットのようなものを作ってつながる機会をつくったり、「二十歳のつどい」などを利用して意見を聞いて、新たなイベント企画につなげ、運営にも参加してもらうようなことを考えられないか。	引き続き、事業実施後のアンケート結果を活用し、より効果的なものとなるよう取り組んでまいります。
8	第3回 すこやか・まちづくり部会	大和川に生息しているうなぎを学校で飼育したい人や大和川の開放などをやりたい人の情報や、スポーツ教室が指導者不足で困っているとか、ソフトボールの指導ができるなどの情報を発信することもよいのではないか。	さまざまな情報発信ができるよう、引き続きまちづくりセンターと連携して取り組んでまいります。
9	第3回 すこやか・まちづくり部会	子どもからお年寄り、外国人など、町会のみinnで毎日清掃をし、花を植えるなどすることにより、大阪市で一番きれいなまちをめざして取り組んではどうか。	引き続き、すこやか・まちづくり部会の中で意見交換を行ってまいります。
10	第3回 すこやか・まちづくり部会	SNSなど、もう少し若い人向けにターゲットを絞って、興味がありそうなテーマを決めて情報を発信していく方がよいと思う。自分たちの区では色々な取組をやっているんだということを身近に感じてもらえるような情報を届けてほしい。	発信する内容や対象に応じて、SNSや広報紙、掲示板などの情報発信ツールを選定し、それぞれのツールに応じた発信頻度を検討するなど、引き続き柔軟な情報発信を進めてまいります。
11	第3回 すこやか・まちづくり部会	SNSやLINEの活用は寂しいと感じる人も多い、掲示板の活用も大切である。	

いただいたご意見への対応方針（令和7年度 第3回区政会議）

番号	会議	意見内容	対応方針
12	第3回防災・安全部会	災害が起きた時の状況が想像できなかつたり、津波が来ても何とかなると思っ ている方もいるのではないかと。発災時の状況を映像で見てもらえれば、防災意識の 向上につながると思う。	引き続き、区のホームページや防災訓練、出前講座等の機会を捉え、発災時の映像や啓 発動画を活用するなど、防災意識の向上に向け啓発してまいります。
13	第3回防災・安全部会	地域防災訓練にPTAやこども会の方、一般住民の方などにたくさん参加してもらえ るよう、SNSでの啓発や直接電話で呼びかけるなど周知してはどうか。	より多くの方に防災訓練に参加してもらえよう、各地域の自主防災組織と連携し、呼 びかける方法について、引き続き検討してまいります。
14	第3回防災・安全部会	地域防災リーダーによる放水訓練を子ども達に見てもらい、実際に触れてもらえれ ば防災の関心が高まると思う。	地域によっては地域が主催のイベントにおいて放水体験を行い、参加者の防災の関心が高 まるよう取り組んでいます。より多くの方に防災の関心を持ってもらえるよう、引き 続き検討してまいります。
15	第3回防災・安全部会	「避難カード」について、小中学校を通じて配布し保護者にも見てもらうことで 子どもにも保護者にも関心を持ってもらえるのではないかと。	引き続き、小中学校と連携し防災授業等の機会を捉え、「避難カード」を活用した啓発 を実施してまいります。
16	第3回防災・安全部会	「避難カード」は配布するだけでなく、実際に記入してもらうことで防災意識の 向上に繋がると思う。	
17	第3回防災・安全部会	防災意識の向上に向けては地道に啓発活動に取り組むことが重要である。防災士 による休日の出前講座の開催など、啓発の機会を増やしてはどうか。	住之江区では防災意識の向上に向け、防災を分かりやすく説明する出前講座を実施して います。出前講座の休日開催など、啓発機会の増加に向け、引き続き検討してまいりま す。

いただいたご意見への対応方針（令和7年度 第3回区政会議）

番号	会議	意見内容	対応方針
18	第3回部会 (全体にかかるご意見)	<p>区のビジョンが抽象的なので、具体的な目標を作ることが必要だと思う。他の区にない住之江区のいいところをアピールしないと若い人は来ないと思うので、なにか1つテーマを決めて取り組んでいくとよいのではないかな。</p>	<p>住之江区では、概ね5年後の住之江区がめざすまちの将来像と施策の方向性を明らかにし、区民の皆さまと一緒に進めるまちづくりの指針として「住之江区将来ビジョン」を策定しており、「めざす将来像」は“心から誇りに思えるまち、住之江区”です。</p> <p>「将来ビジョン」で示された施策の方向性に沿って年度ごとの施策・事業の取組を明らかにする単年度ごとのアクションプランが運営方針であり、区役所として取り組むべき具体的取組について、各部会でご議論いただいています。</p> <p>住之江区の魅力発信も含め、各部会でのご議論を踏まえながら、ビジョンの達成に向けて取り組んでまいります。</p>
19	第3回全体会	<p>住之江区に住んでくれる人を増やすために、他都市の効果的な取組を参考にして効果的な取り組みをおこなってほしい。</p>	<p>引き続き、他区や他都市の取り組みも参考にしながら、地域活動が自律的に活発に行えるよう支援を行ってまいります。</p>
20	第3回全体会	<p>ネガティブ情報に負けないように、ポートタウンのノーカーゾーンなどの他の区にはない住之江区の魅力的なところを積極的に発信していくのがよい。</p>	<p>引き続き、魅力ある情報や特色ある情報を様々な媒体を活用して積極的に発信してまいります。</p>
21	第3回全体会	<p>子育て世代の人たちが集まる、住んでもらうようなまちづくりを進めるために、特区申請していくのが良いのではないのでしょうか。</p>	<p>住之江区には既に咲洲ウェルネスタウン計画があり、また、大阪市において大阪の西地域の賑わいづくりを進めていく動きがあり、引き続き子育て世代など多くの人に住んでもらえるまちづくりに取り組んでまいります。</p>

いただいたご意見への対応方針（令和7年度 第3回区政会議）

番号	会議	意見内容	対応方針
22	第3回全体会	高校生や大学生、中学生が地域活動に参加して、イベントなどを盛り上げてもらうような仕掛けが必要。地域によっては青年部として学生が主体的に関わっているところもある。	引き続きまちづくりセンターを通じて担い手確保の支援を行うとともに、各地域の好事例の共有を行ってまいります。
23	第3回全体会	防災・教育に共通するが、子ども達に関心を持ってもらえるように、ゲームの要素を加えて取り組んではどうか。例えば、防災であればメタバースにおける仮想空間において自分の分身が避難訓練を行うなど、体験してもらってはどうか。	防災意識の向上に向け、防災に興味をもってもらえるよう、小中学校と連携した防災授業や防災講座の内容について引き続き検討してまいります。
24	第3回全体会	大東市が公益社団法人全国学習塾協会から講師の派遣を受けて土曜日に塾をやっている。こうした他都市の事例も参考にしてはどうか。	他都市の事例も参考に取り組んでまいります。
25	第3回全体会	大阪市習い事・塾代助成事業の利用率を上げるためには何より周知が大事だと思う。	いただいたご意見をこども青少年局などの担当部局に伝えてまいります。
26	第3回全体会	他の区では学校の取組を保護者向けに発信している。住之江区の学校でもこうした保護者あてに情報を発信できないか。	情報発信の手法として、学校でのチラシ配布だけでなく、教育委員会のHPに情報を掲載するなどの仕組みを活用して、保護者の方にも情報が届くよう工夫してまいります。